

成田市自然観察会

早春の成田山

谷 優（成田市）

日 時：2024年3月2日（土）9時30分～12時 天候：晴れ

場 所：成田山公園（成田市）

参加者：23名（大人17名、子ども6名） 成田市環境課職員3名

担当指導員：晝間、金子、荘子、水野、谷、菅澤、宮本

三寒四温といいますが、その寒の日で、前日の暖かさに慣れた身には寒さを一層感じる日でした。それでも参加者を目の前にするとやる気のスイッチが入りました。

表参道を進むと薬師堂があります。ここは現存する最古の旧本堂で、ここで古い成田山の寺紋と現在の寺紋について話しました。脇道に入りしばらく進むと、シキミが両脇に生えています。これは全部が毒で、そのため悪霊を防ぐのに使われたことを話すと参加者は驚いていました。日当たりのよい場所では、シキミの淡い黄色の花が咲き、写真に撮る人がたくさん。稲荷神社の先では、筑波山がよく見え、参加した子ども達も喜んでいました。

前本堂である釈迦堂、光明堂を過ぎ、成田山公園へ下っていきます。自然の地形を巧みに利用した公園は、一気に深山に足を踏み入れたよう。豪快に流れ落ちる雄飛の滝、周辺は苔やシダ植物が生い茂り幻想的な風景が広がります。梅祭りが開催されていましたが、今年の梅の花はすでに盛りを過ぎ、散り始めていました。梅の木には、ウメノキゴケがびっしりと生えています。

毎年、散策路脇のスタジイにだけしか着生していないヨウラクラン。日本のランの中で最も小さい花。その貴重なヨウラクランが、今年の下見でいたる所で見つかり、観察員一同驚きました。どのようにして増えたのか？5月になると花が咲くので、大きさ1ミリほどのその花を是非見てみたいものです。日中友好記念樹の珍しいシロマツの周りに生えているのは、赤松が圧倒的に多かったです。黒松はどこに？黒松らしいチクチクした葉の松があり、これが黒松と思いきや、冬芽が白くロウソクを立てたような形をしていません。赤松と黒松の自然交雑種があるそうで、「これは赤松、黒松それとも合子の子？」しばし松談義に花が咲きました。梅の花は散り始めていたものの、カワヅザクラが満開で目を楽しませてくれました。

参加者からは・たくさんの発見があつてよかった。・知らない植物に出会えた。・鳥をもっと見たかった等の感想がありました。



ヨウラクラン



雄飛の滝を望む



この松はどっち？



満開のカワヅザクラ